



ツールiCADファイル エクスプローラ

フォルダ運用でiCAD SXをご利用いただく方にお勧め

設計時に必要なWindowsファイル操作を“専用コマンド”で支援

<概要>

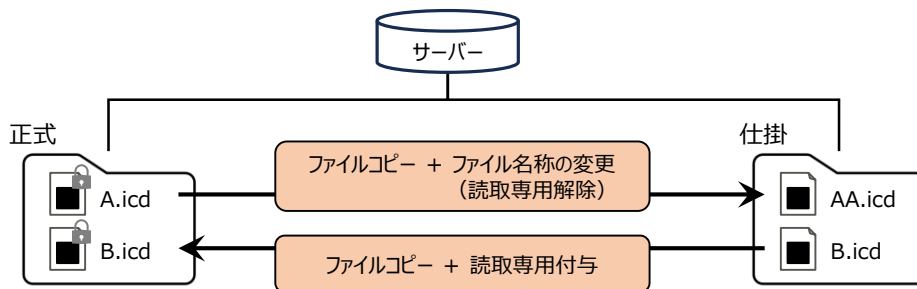
- 設計完了データを誤って操作しないよう、設計で扱うデータは別フォルダへ格納する運用を推奨します
- 設計完了データに読取専用の属性を付与しておく、データを保護することができます
- エクスプローラで行うファイル操作（ファイルコピー、読取専用の属性変更など）の手間や操作ミス削減するコマンドをご提供します

※データ管理ツールのように、ファイルの持出しと登録、図番や版数の管理を行うツールとは異なります

機能概要

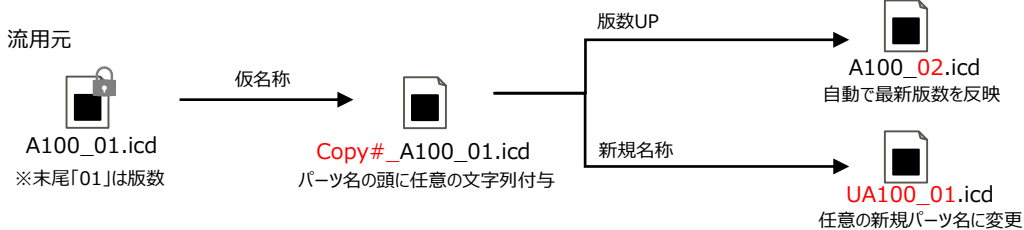
①フォルダ間のファイルコピーを一括で実行

- 設計開始時の正式フォルダから仕掛フォルダへのファイルコピー、ファイルの名称変更や読取専用を解除
- 設計完了後の仕掛フォルダから正式フォルダへのファイルコピー、ファイルの読取専用を付与



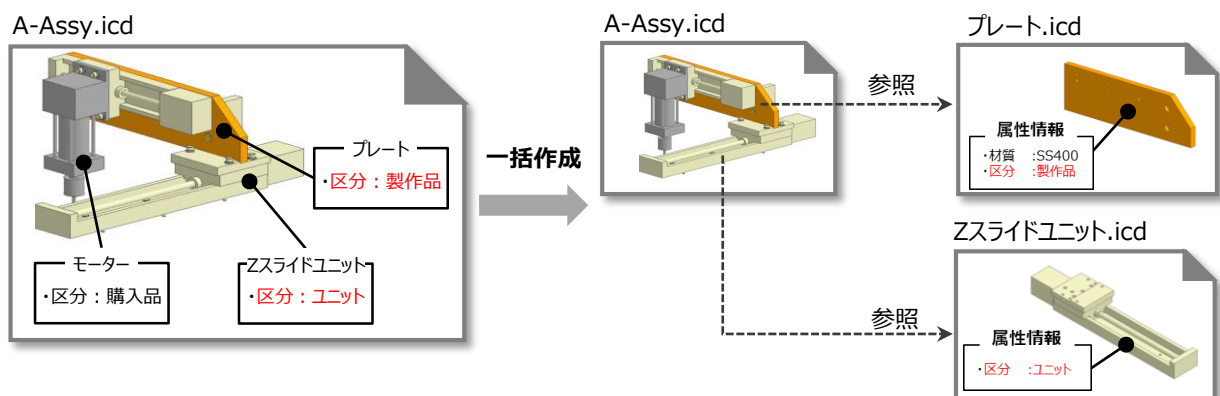
②ファイル名、パーツ名を自動で変更

- 流用編集を行うパーツファイルの名称変更を設計要件に合わせて自動で実行



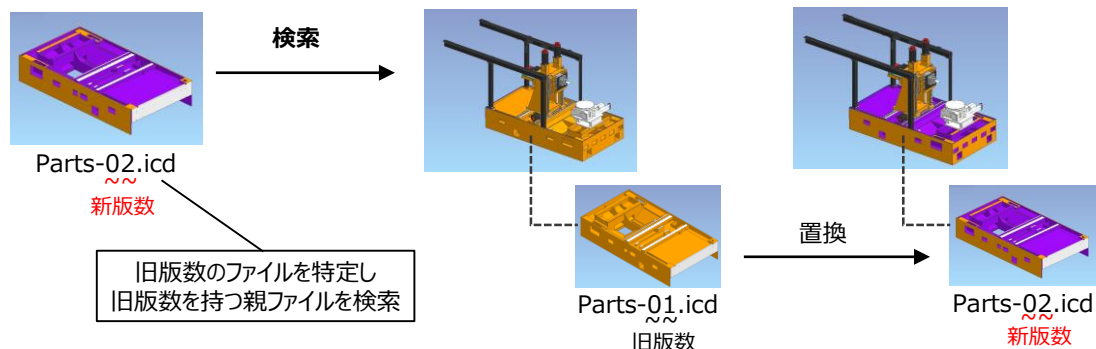
③属性情報を基に参照ファイル（外部パーツ）の一括作成

例) 属性情報 [区分] が“ユニット”と“製作品”の場合は、参照ファイルの作成が必要なパーツと定義



④親ファイルの構成変更

- 旧版パーツが使用されている親ファイルを検索し、親ファイルの構成を新版パーツに変更



推奨する運用の概要

①CADデータのフォルダ運用

- ・設計中は仕掛フォルダへ、設計完了後は正式フォルダへ格納する
- ・各フォルダ内はサブフォルダを作成せず、フラットな構成でファイルを格納する

②命名規約

- ・ファイル名とパーツ名は同一名称として、「図番+版数」（購入品の場合は「型番」）とする
※版数は数字のみ対応
- ・パーツコメントに部品名称を登録する

③パーツ運用

- ・図面作成が必要なモデルは、参照ファイル（外部パーツ）を作成する

サービスの詳細につきましては、下のURL または 右のQRコードからWEBサイトにアクセスしてご確認ください

https://cad-laboratory.jp/service/sx_tools/



保守内容

- ・保守サービス期間において、V8L2-19A、V8L3-17A、V8L4-02A以降のiCAD SX動作環境で、本ソフトウェアが従前の機能を継続利用できるよう、修正プログラムとレベルアップ版を提供いたします。

保守サービス（一部抜粋）

- ・保守サービスの期間は保守開始日から1年間とし、以後、毎年自動更新いたします。但し、期間満了の1ヶ月前までに所定フォーマットから更新を中止する旨の申請があった場合には、保守サービスは期間満了をもって終了いたします。
※詳細は、保守サービス約款をご確認ください。

iCAD株式会社

■お問い合わせ

iCADインフォメーションセンター

住所: 〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9 野村不動産芝大門ビル 2階

E-mail: icad-info@icad.jp